

社会>第6学年>(2)我が国の政治の働き

模擬投票から気付くこと〔千早赤阪村立千早小吹台小学校〕

⇒参考：指導略案

ねらい（つきたい力）

- 模擬選挙で根拠をもって判断することを通して、政治に参加することの大切さについて考え、社会を構成する一員としての自覚を持つ。

取り組みの概要

① 選挙について学習したことを確かめよう

- ・前時に学習した、投票の制度、選挙の意義や課題について復習し、本時のめあてを持つ。

② 模擬投票を体験しよう

- ・架空の政党（4つ）の立候補者（4人）のマニフェストを見る。
- ・模擬投票を行う。
- ・ワークシートに自分の思いを書き、投票前の自分の考えや、投票を判断した理由について発表し合う。
→実際の政党の主張や主義と合致し特定されることがないように、内容に配慮したい。

③ 投票から気付いたことを話し合おう

- ・投票結果を知り、模擬投票の感想を発表し合う。
- ・多数決の意義や課題、棄権や白票の存在、現行の選挙での低い投票率の問題などについて感じたことを話し合う。

★発展★ 未来の自分にメッセージを書こう。（選挙権をもったら・・・）

工夫など

- 自分が投票した「根拠」を発表し合うことで、マニフェストをしっかりとみることや責任を持って判断することの大切さ、多様な考えや判断のしかたがあることについて気付かせる。

授業を終えて

- 児童は意欲的に模擬投票に取り組んでいた。また、自分が投票した「根拠」を発表し合う時間をきちんと持つことで、より政治に興味を持つことができた。